

第1号議案 2007年度（平成19年度）事業報告書（案）並びに収支決算書（案）

2007年度活動報告

会長 神内擴行（横浜リハビリテーション専門学校）

2007年度の1年間に会員数は2000人台から約250人増加し、現在は2370名前後を推移しています。さらに2008年には約250人の増加が予想されています。このような急激な会員増に対して、士会の活動も対外的な要請や会員の質的向上など多岐に渡り、各部局の業務が複雑に絡み合っているのが現状です。この複雑な各部局の活動を見直し、次の時代に即した活動を進めるために2007年度の大きな目標は、次年度に向けた組織の改革推進の年であったといえます。

事務局関係では、会員管理として会員名簿の作成・発行、広報の一環である士会ニュースのリニューアル、ホームページ管理体制の検討とウェブサイト改変作業の推進、個人情報管理マニュアルの検討などが進められました。

学術局関係では、定例の各種研修会・講習会の開催と並行して、学術誌充実のための査読委員会の設置、県内勉強会サークルへの支援、症例検討Ⅲ発表会の企画・開催など会員の質的向上を目指した活動が推進出来たと思います。

社会局関係では、例年行われている理学療法月間事業や関連職種研修会、PT・OT地域ケアネットワーク研修などに、新しくPT・OTスキルアップ研修を加えて活動の幅が広がりました。それらの活動とともに、新しく士会活動全般の組織的な見直しを行い、他の部局との業務調整作業が図られました。その結果は2008年度の士会活動組織図に反映されておりますので、ご参照お願いいたします。

士会全体としての活動では、「神奈川県保健福祉医療計画改定骨子案」の県からのヒアリングに対して会としての意見を述べさせていただきました。また、県病院協会のお計らいにより、神奈川県知事との懇談会に会として出席し、知事はじめ副知事、保健福祉部長に直接、本会の活動と今後の課題について理解を得ることが出来たことは有意義であったと考えます。

また本会が法人化して初めて、神奈川県保健福祉部の指導監査を受け、士会の活動内容が外部からチェックを受けました。その結果、記録上の記載ミスや印鑑の欠如など若干の不備について、その場で口頭にて指導を受けましたが、本会の事業内容や予算執行に関する会計処理などについては特に問題を指摘されることも無く、好印象の評価を受けました。日頃の士会役員のご努力のたまものと感謝いたします。

以上、2007年度の本会活動報告を総括いたしました。よろしくご審議お願い申し上げます。

事務局担当理事

常任理事 林 克郎 (横浜リハビリテーション専門学校)
理事 広瀬好郎 (七沢リハビリテーション病院脳血管センター)
理事 大槻かおる (大和市立病院)

事務局

事務局長 山口 泰成(森の里病院)
事務局員 石川 久子
小野田誠子
松岡 明子

事務所概要

所在地 横浜市西区楠町4番地12
土地 1488.41 m² 所有権の割合 12,400/673,931
所有権 敷地権割合に応じた共同所有
建物 2001年12月完成 11階建てマンションの11階部分の1階部分
占有面積 124.00 m² 所有権 区分所有

主な通常事業は以下のとおりです。

- 1, 入退会, 転入出等会員管理事務
平成19年度1年間の会員異動実績は以下のとおりです。
新入会299名 転入118名 転出81名 県内異動261名 休会45名
復会9名 退会20名
- 2, 各種文書收受, 公文書等発送管理
関係機関, 団体等からの文書の收受, 保管および理事部長委員長への転送, 連絡
公文書の作成, 発送, 管理, 事務文書の作成
ニュース, 会報等会員向刊行物の発送管理
- 3, 総会, 理事会の開催事務
- 4, 経理事務
現金出納, 入出金管理, 帳簿・各種伝票等諸帳票の管理

総務部

部長 角掛洋行(横須賀市立市民病院)
部員 増井陽子(横須賀市立市民病院)
岸 昌親(横須賀市立市民病院)

- 1 新人会員オリエンテーションの運営を行った。
- 2 第22回・23回総会の運営を行った。

書記係

係長 齊藤和男 (新戸塚病院)
係員 田中さえ子(けいゆう病院)
鈴木沙織 (佐藤病院)

- 1 常任理事会の記録について行った。
- 2 理事会の記録について行った。
- 3 総会の記録について行った。

新人オリエンテーション係

係長 木下尚久 (介護老人保健施設つくしの里)
係員 上田正博 (特別養護老人ホーム花はうす)
江原央晃 (介護老人保健施設ナーシングプラザ港北)

平成 19 年度新人オリエンテーションの開催

日 時 : 平成 19 年 6 月 17 日 (日) 10 : 00 ~ 17 : 30

場 所 : 神奈川県立保健福祉大学 1 階講堂

内 容 : 午前の部 (10:00~12:00) 新人オリエンテーション

午後の部 (13:00~17:30) 新人教育プログラム研修会

参加者 : 272 名

ニュース編集部

部長 坪内敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
部員 田中一秀 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
水野智明 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
赤岡麻里 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
塩浜康太 (湘南東部総合病院)

1. 定期的にニュース編集会議を行った。
2. 印刷業者の選定、構成内容の検討を行った。
3. 年間特集予定を立案した。
4. ニュースの発行を行った。(5月.7月.9月.11月.1月.3月)

ウェブサイト管理部

部長 林克郎(横浜リハビリテーション専門学校)

1. ホームページリニューアルにあたり関連部局と連携を図り、会員の負担軽減・利便性の向上・デザインの変更を基本に仕様について検討を重ねた。
2. ホームページリニューアル業者と3月に契約し、6月公開に向け準備中である。

社会局担当理事

常任理事 炭 孝昭 (太田総合病院)
理事 惣田 洋 (横浜南共済病院)
理事 中村さち子 (平塚市民病院)
理事 露木昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)

高齢者福祉部

部長 相川浩一 (介護老人保健施設アゼリア)
部員 萩原文子 (川崎社会保険病院)
大島奈緒美 (湘南シルバーガーデン)
久保木あずみ (リマイン地域ケアサービス)
湯田修 (足柄リハビリテーションサービス)
吉澤隆治 (総合川崎臨港病院)
中島陽子 (横浜新都市脳神経外科病院)
前田玲 (介護老人保健施設さつきの里あつぎ)

1. 理学療法月間公開講座「介護予防キャラバン」

テーマ 元気の出る介護予防のあり方

講師 東都リハビリテーション学院・市町村介護予防施策支援機構
和島英明氏

日時 H19年7月29日(日) 13:30~15:30

場所 ウィリング横浜

対象 神奈川県民

参加数 37名

2. H19年度関連職種研修会

テーマ ベッド上の基本的起居動作・シーティング

講師 平塚市民病院 相原将文氏

日時 H19年9月30日(日) 10:00~15:00

場所 ウィリング横浜

対象 神奈川県介護福祉士会会員

参加数 38名

3. 第1回福祉用具スキルアップ研修

主催 社団法人神奈川県理学療法士会・神奈川県作業療法士会

日時及び内容 (実技含む)

H19年10月28日(日) 9:30~17:00

臥位のポジショニング・起居動作・移乗動作について

講師 神奈川県立保健福祉大学 隆島研吾氏

神奈川リハビリテーション病院 平田学氏

有) 足柄リハビリテーションサービス 露木昭彰氏

11月3日(土) 9:30~17:00

座位姿勢・車椅子移動・車椅子での活動について

講師 川崎市れいんぼう川崎 高田靖子氏

横浜市総合リハビリテーションセンター 佐藤文子氏

横浜リハビリテーション専門学校 大西里恵氏

11月4日(日) 9:30~16:10

生活環境・住宅改修・社会制度について

横浜市総合リハビリテーションセンター 松葉貴司氏

横浜市総合リハビリテーションセンター 藤井智氏

横浜市総合リハビリテーションセンター 渡邊慎一氏

場 所 ウィリング横浜

対 象 神奈川県理学療法士会会員・神奈川県作業療法士会会員

参加数 48名(PT24名・OT24名) 修了者数PT22名

4. 第15回PT/OT地域ケアネットワーク合同研究会

主 催 社団法人神奈川県理学療法士会・神奈川県作業療法士会

テーマ 現場で知りたいこと

「認知症について」

講師 北里大学医療衛生学部 浅海奈津美氏

「在宅におけるリスク管理」

講師 訪問看護リハビリテーションネットワーク 平野康之氏

日 時 H20年2月17日(日) 10:00~16:00

場 所 ウィリング横浜

対 象 理学療法士・作業療法士・看護師・ケアマネージャー

参加数 107名(PT20名・OT78名・関連職種9名)

障害児者福祉部

部長 平井孝明(神奈川県立こども医療センター)

部員 佐藤隆一(小田原市立病院)

福原一郎(横浜療育医療センター)

今井真紀(神奈川県立総合療育相談センター)

斉藤英博(横浜市南部地域療育センター)

兼子 健(ソレイユ川崎)

本吉美和(神奈川県立こども医療センター)

1. 理学療法月間における公開シンポジウムの開催

日時:平成19年7月1日(日) 10:00~16:00

場所:横浜ラポール

対象：一般県民対象、無料

テーマ：「こどものリハ、今そして未来を探って」

ーこどもの成長と共にあるリハとは？ー

講師：斉藤英博（横浜市南部地域療育センター）、富田洋子（横須賀市立養護学校）

福原一郎（横浜療育医療センター）、佐藤隆一（小田原市立病院）

岸本久美・平井孝明（神奈川県立こども医療センター）

座長：瀧澤久美子（横浜市社会福祉協議会障害者支援センター）

下山郁子（横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～）

参加人数：170名

2. 地域作業所・グループホーム職員研修

目的：障害を持つ人への介助法と健康管理について理解を深める。

日時：平成20年2月23日（土） 10:00～16:00

場所：あゆみ荘

対象：地域作業所・グループホーム職員

内容：介助法の実際・介助者の健康管理についての講義と実技。

参加人数：15名

3. 横浜市地域支援事業（理学療法士巡回相談）

地域作業所に対し巡回健康相談を行い、利用者等の健康の増進を図る。

実施回数：95回

4. 理学療法月間、公開シンポジウム記録集のまとめ

平成19年度の公開シンポジウム記録を要約し、「理学療法—技術と研究—」第36号に掲載した。

5. 小児理学療法ガイドブック（第3版）の更新

神奈川県における小児理学療法実施施設名称、連絡方法、内容等をホームページ上で更新する。（更新中）

6. 県域作業所支援事業

県域作業所からのニーズに対し具体的な対応策を検討し、利用者・介助者の健康増進を図る。

理学療法普及啓発部

部長 相馬光一（神奈川リハビリテーション病院）

部員 山村孝司（横須賀共済病院）

山口和久（横浜栄共済病院）

家高伸行（横須賀北部共済病院）

中川淳一郎（横浜市総合リハビリテーションセンター）

遠藤朋恵（神奈川リハビリテーション病院）

I：理学療法月間のイベント

II：健康生活展出演

I・IIの事業にて県民に対し理学療法の普及・啓発を行なった。理学療法月間事業で普及・啓発のためポスター・ちらしを作製し、県内関連施設への告知（病院、施設、学校など）を行なった。当日、PRのためにPT協合作製のリーフレット・PTあ！・ティッシュペーパーと神奈川県士会作製の士会名入りクリアファイル・修正テープを来場者に配布した。PRのために必要な配布物（士会名入りのクリアファイルと修正テープ）を作製した。

I：理学療法月間

1) 公開シンポジウム

日時 7月1日(日) 13:00-16:00

会場 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール (ラポールシアター)

シンポジウム 「子どものリハ、今そして未来を探って」

司会 瀧澤 久美子 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター
地域コーディネーター

コメンテーター 下山 郁子 横浜重心グループ連絡会〜ぱさぱネット〜 代表

シンポジスト 岸本 久美 神奈川県立こども医療センター

斉藤 英博 横浜市南部地域療育センター

富田 洋子 横須賀市立養護学校

福原 一郎 横浜療育医療センター

佐藤 隆一 小田原市立病院

平井 孝明 神奈川県立こども医療センター

企画運営は障害児・者福祉部が担当（詳細は障害児・者福祉部を参照）

2) ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2007ブース展示（主催：横浜市リハビリテーション事業団）

日時 7月5日(木) - 7日(土)

会場 パシフィコ横浜

来場者数 250名

3) ハイスクールフォーラム

日時 7月22日(日) 15:00-17:00

会場 かながわ県民センター (2階ホール)

講演1 「理学療法と作業療法ってどう違うの？」

講師 林 克郎 横浜リハビリテーション専門学校

講演2 「理学療法士の1日」

講師 濱野俊明 藤沢市民病院

千葉 桂 介護老人保健施設ウエルケア新吉田

神保隆行 横浜市都筑医療センター 訪問看護ステーション

来場者数 61名

4) 公開講座

日 時 7月29日(日) 13:30-15:30
会 場 ウィリング横浜
講演 介護予防キャラバン「元気の出る介護予防のあり方」
講師 和島 英明 東都リハビリテーション学院
市町村介護予防施策支援機構
前自治体職員
企画運営は高齢者福祉部が担当(詳細は高齢者福祉部を参照)

5) 理学療法見学会(県内リハビリテーション施設での理学療法業務の見学)

日時・会場: 7月23日(月) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
7月24日(火) 日本鋼管病院
7月25日(水) クローバーホスピタル
7月26日(木) 平塚市民病院
7月27日(金) 地域リハセンターふらっと
内容: ビデオ上映(理学療法業務の紹介: 日本理学療法士協会編)
理学療法業務見学・質疑応答
見学者 36名

6) 理学療法相談会

日 時 平成19年7月1日(日)～7月31日(火)
会 場 理学療法月間事業各会場

II: 健康生活展(すこやかかながわ一万人健康ウォーク併催、主催: かながわ健康財団)

日時: 11月10日(土)
会場: 赤レンガパーク
内容: 健康生活展ブース展示(健康相談、運動指導、パネル展示など)
来場者 200名

人材バンク部

部長 永堀造男(横浜新緑総合病院)
部員 平方則之(ライフプラザ新緑)
雨宮 淳(横浜新緑総合病院)
土屋隆史(川崎幸病院)

- 1、講演依頼 1件
- 2、非常勤PT 募集依頼件数5件

保健福祉領域ニーズ検討委員会

委員長 炭 孝昭(太田総合病院)

事業1、19年度診療報酬改定についての情報提供

対応：県士会HP、ウェブニュースへ掲載した。

事業2、県士会会員からの診療報酬に関わる問い合わせ対応

内容の内訳

- ①診療報酬算定方法に関わる質問
- ②解釈内容の判断に関わる質問
- ③訪問リハに関わる質問
- ④施設関連の質問
- ⑤代替医療者に関わる質問
- ⑥疾患別リハ料に関わる質問

対応

- ①診療報酬に関わる所謂「白本・青本」からの引用
- ②協会医療保健部への意見具申
- ③周辺施設からの情報収集
- ④質問者への返信

事業3、協会関連

- ①会議出席（会長代理出席）
- ②診療報酬に関わる質問

学術局担当理事

- 常任理事 畠中泰司（横浜市立大学附属病院）
理事 松永篤彦（北里大学医療衛生学部）
理事 菅原憲一（神奈川県保健福祉大学）
理事 湯田健二（海老名総合病院）

学術局

1. 学術サークル助成事業：7サークルへ助成
2. 第26回神奈川県病院学会への協力
学術委員会および学会運営委員の派遣
3. 全国学術担当者会議出席
日本理学療法士学術大会および関東甲信越ブロック学会開催時の会議に出席

学術講習部

- 部長 太附広明（相模原協同病院）
副部長 田治 秀彦（横浜市総合リハビリテーションセンター）
会計 寺尾 詩子（聖マリアンナ医科大学病院）
書記 小山理恵子（聖テレジア病院）
書記 磯貝 仁美（神奈川リハビリテーション病院）
部員 川上 恵治（湘南泉病院）
今富 真紀（横浜市脳血管医療センター）
小西 正浩（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院）
萩原 聰（横浜市東部療育センター）
藤橋 紀行（北里大学東病院）
堅田 紘頌（聖マリアンナ医科大学病院）
安村 郁未（横浜市総合リハビリテーションセンター）

- 1) 講習会およびリーダー研修会企画のため部会を年7回開催した。
- 2) 4回の講習会を企画し運営・開催した。
- 3) リーダー研修会を企画し運営・開催した。

第1回講習会

- 日時 平成19年7月29日（日）
テーマ アクティブ・テクノロジーとシーティングの基礎
講師 木之瀬 隆 先生（首都大学東京健康福祉学部作業療法学科）
会場 横浜市立大学 臨床講堂
参加者 71名

第2回講習会

日 時 平成19年9月23日(日)
テーマ 人工膝関節置換術の実際 ～診断及び手術手技を中心に～
講 師 高木 博 先生(昭和大学藤が丘病院整形外科医師)
会 場 昭和大学藤が丘病院C棟講堂
参加者 113名

第3回講習会

日 時 平成19年11月11日(日)
テーマ 呼吸理学療法の実際
講 師 丸谷 守保 先生(神奈川リハビリテーション病院 PT)ほか
(藤縄光留先生、小泉千秋先生、辻融枝先生、浅沼満先生)
会 場 神奈川リハビリテーション病院
参加者 75名

第4回講習会

日 時 平成20年3月2日(日)
テーマ 脳性麻痺の知覚障害
講 師 茂原 直子 先生(大阪発達総合療育センター OT)
会 場 横浜市総合リハビリテーションセンター 多目的ホール
参加者 80名

リーダー研修会

日 時 平成20年1月20日(日)
テーマ 研究法入門 ～統計学手法(分散分析)から研究計画を考える～
講 師 松永 篤彦 先生(北里大学医療衛生学部 PT)
会 場 横浜市総合リハビリテーションセンター 研修室
参加者 57名

新人教育部

部長 川村博文(神奈川県立保健福祉大学)
副部長 上杉 上(横浜市立大学附属病院)
部員 植木琢也(横浜市立脳血管医療センター)
金井 章(浦賀病院)
小西聡宏(横浜市立大学附属病院)
小林寿絵(横浜市立大学附属病院)
駒場佳世子(横浜市立脳血管医療センター)
櫻井好美(神奈川県立保健福祉大学)
中村大輔(横浜市立大学附属病院)
野田裕太(横浜市立脳血管医療センター)

藤浦 達 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)
高木峰子 (神奈川県立保健福祉大学)
松宮美奈 (横浜市立大学附属病院)
向山ゆう子 (横浜市立大学附属病院)
渡邊沙織 (横浜市立脳血管医療センター)

1) 平成19年度新人教育プログラム研修会

① 1年次新人教育プログラム研修会

日時：平成19年6月17日(日)

会場：神奈川県立保健福祉大学講堂

テーマ・講師・所属：

- 「1-1. 協会組織と機構」・神奈川県理学療法士会会長 神内擴行 先生・横浜リハビリテーション専門学校
- 「1-1. 女性の雇用環境について」・同理事 中村さち子 先生・平塚市民病院
- 「1-2. 職業倫理」・同副会長 隆島研吾 先生・神奈川県立保健福祉大学
- 「1-2. 管理運営」・同副会長 秋田 裕 先生・横浜市総合リハビリテーションセンター
- 「1-4. 理学療法士・作業療法士法および関連法規(介護保険法等)」・同副会長 萩原利昌 先生・川崎市リハビリテーション福祉センター

1-1は「協会組織と機構」と「女性の雇用環境について」をあわせて1単位。

1-2は「職業倫理」と「管理運営」をあわせて1単位。

- 参加者： 1-1. 272名
 1-2. 275名
 1-4. 276名

② 第26回関東甲信越ブロック理学療法士学会

日時：平成19年9月1日(土)・2日(日)

会場：軽井沢プリンスホテルウエスト

テーマ・講師・所属：(1・2・3年次新人教育プログラムのための読み替え単位設定で対応)

1. 新人教育プログラム 教育講演① (1-2,6 2-2,6 3-2,4 に対応)

「長野県理学療法士会スポーツサポート部の活動はどこまですすんだか?」・児玉雄二 先生・相澤病院スポーツ障害予防治療センター

参加者： 30名

2. 新人教育プログラム 教育講演② (1-3,4 2-3,4 3-1 に対応)

「理学療法士が起業するとは?」・宮田 保 先生・NPO法人 住まいとリハビリ

参加者： 28名

3. 基調講演 (1-1,5 2-1,5 3-3,5 に対応)

I. 「EBPTの推進に向けて」・木村貞治 先生・信州大学医学部保健学科

II. 「高次脳機能障害の診断とリハビリテーション」・原 寛美 先生・相澤病院総合リハビリテーションセンター

参加者： 40名

③ 2年次新人教育プログラム研修会

日時：平成19年9月9日（日）

会場：横浜市立大学附属病院へボンホール

テーマ・講師・所属：

「2-1. 理学療法の研究手法論」・長澤 弘 先生・神奈川県立保健福祉大学

参加者：150名

「2-2. 人間関係」・吉岡 文先生・横浜市立脳血管医療センター

参加者：165名

「2-3. 生活環境支援」・松葉貴司 先生・横浜市総合リハビリテーションセンター

参加者：149名

「2-4. 社会の中の理学療法」・炭 孝昭 先生・太田総合病院

参加者：145名

「2-6. 症例検討Ⅱ」・澤田明彦先生・七沢リハビリテーション脳血管センター

参加者：149名

④ 1・3年次新人教育プログラム研修会

日時：平成19年12月9日（日）

会場：横浜市立大学附属病院へボンホール

テーマ・講師・所属：

「3-1. 生涯学習」・鶴見隆正 先生・神奈川県立保健福祉大学

参加者：75名

「3-3. 世界の理学療法」・清水ミシェル・アイズマン先生・県立広島大学

参加者：79名

「1-6. 症例検討Ⅰ」・永井 聡先生・広瀬整形外科

参加者：233名

「1-3. 地域におけるリハビリテーション」・鈴木三四郎先生・総合病院衣笠病院

参加者：233名

⑤ 「第1回 神奈川県理学療法士会症例検討発表会」(症例検討Ⅲ認定対策学術発表会)

会場：神奈川県立保健福祉大学大講義室

日時：平成20年1月27日（日）

発表演題：13演題

参加者：57名（症例検討発表者13名含む）

2) 部会開催と関係会議の出席

1. 部会開催：4回

2. 関東甲信越ブロック新人教育担当者会議出席

会場：軽井沢プリンスホテルウエスト

日時：平成19年9月2日（日）

神奈川県士会代表出席者：川村博文・上杉 上

データ管理係

係長 田中健康（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
 副係長 澤田明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
 係員 熊木由美子（横浜市立脳血管医療センター）
 島津尚子（横浜市立大学附属病院）
 矢野実穂（横浜市立脳血管医療センター）

- 平成19年度新人教育プログラムへの枠入れ
- 新人教育プログラム修了書の発行及び発送管理：日本理学療法士会への修了書発行者名簿の報告
- 県士会員新人教育プログラム・データの登録及び入力：バーコードあるいは名簿入力による受講受付
 新人教育部主催研修会、講習部主催講習会、関東甲信越ブロックPT学会、神奈川県PT学会

資料① 平成19年度入会年度別研修・講習出席状況（平成20年3月末現在）

日付	研修名	テーマ	入会年度													総受講人数
			S61-H08	H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19		
2007.06.17	新人教育プログラムⅠA	①協会組織・機構、県士会組織②女性の就労環境	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	261	272
2007.06.17	新人教育プログラムⅠB	職業倫理、管理運営	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4	262	275
2007.06.17	新人教育プログラムⅠC	理学療法と関連法規(介護保険含む)	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	5	262	276
2007.07.29	第1回講習会	アシティブ・テクノロジーとシーティングの基礎	7	1	0	2	2	1	5	8	3	18	14	1	62	
2007.09.01	第26回関東甲信越PT学会A	教育講演①「長野県理学療法士会スポーツサポート部の活動はどこまですすんだか？」	0	0	0	0	0	0	1	0	2	9	9	9	30	
2007.09.01	第26回関東甲信越PT学会B	教育講演②「理学療法士が起業するとは？」	0	0	0	0	0	0	1	0	2	7	9	9	28	
2007.09.02	第26回関東甲信越PT学会C	基調講演①「EBPTの推進に向けて」・②「高次脳機能障害の診断とリハビリテーション」	1	0	0	0	0	1	0	4	14	10	10		40	
2007.09.09	2年次新人教育プログラム研修会A	理学療法の研究方法論	0	0	0	0	1	1	3	1	1	11	131	1	150	
2007.09.09	2年次新人教育プログラム研修会B	人間関係	0	0	0	0	1	1	4	1	2	23	132	1	165	
2007.09.09	2年次新人教育プログラム研修会C	生活環境支援(含む福祉県運用具)	0	0	0	1	1	1	2	1	2	9	131	1	149	
2007.09.09	2年次新人教育プログラム研修会D	社会の中の理学療法	0	0	0	0	1	1	2	1	2	11	126	1	145	
2007.09.09	2年次新人教育プログラム研修会E	症例検討Ⅱ	0	0	1	0	1	1	2	1	3	18	121	1	149	
2007.09.23	第2回講習会	人口膝関節置換術の実際～診断及び手術手技を中心に～	2	0	1	1	4	0	6	6	8	21	24	36	109	
2007.11.02	神奈川県リハビリテーション支援センターPT研修	移動動作の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
2007.11.11	第3回講習会	呼吸理学療法の実践(実技を含む)	4	0	0	1	0	4	3	3	2	11	26	14	68	
2007.12.01	第4回日本理学療法士協会神経系理学療法研究部会学術集会	神経系理学療法を「はかる」	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	
2007.12.09	1年次新人教育プログラム研修会ⅠA	地域リハビリテーション	6	0	0	0	1	0	0	1	0	3	13	209	233	
2007.12.09	1年次新人教育プログラム研修会ⅠB	症例検討Ⅰ	6	0	0	0	1	0	0	1	0	4	11	210	233	
2007.12.09	3年次新人教育プログラム研修会A	生涯学習	0	0	0	0	2	0	3	2	8	58	2	0	75	
2007.12.09	3年次新人教育プログラム研修会B	世界の理学療法	0	0	0	0	2	0	3	2	9	61	2	0	79	
2008.01.20	リーダー研修会	PTのための統計学と研究法	10	0	1	1	3	5	5	2	2	13	9	5	56	
2008.02.17	平成18年度臨床実習教育部主催研修会		6	0	3	1	5	6	3	5	12	40	0	0	81	
2008.02.17	第15回神奈川県PT・OT地域ケアネットワーク合同研究会	「認知症の人への関わり方を考える」、「在宅におけるリスク管理」	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	2	7	
2008.03.02	第4回講習会	脳性麻痺の知覚障害	14	3	3	0	1	5	4	2	2	3	15	16	68	
2008.03.08	第25回神奈川県理学療法士学会A	シンポジウム「各職場における症例検討会のノウハウについて」、女性ライフサポート委員会講演会「パワーアップは雇止めから」	2	0	0	1	3	4	5	5	10	17	23	31	101	
2008.03.08	第25回神奈川県理学療法士学会B	公開講座「生命のシステムから考える運動の効果～なぜ運動は心身にいいのか」・特別講演「理学療法における動作分析～産科から理学療法へ～」	2	0	0	2	4	6	6	9	15	23	36	64	167	
2008.03.20	平成19年度リハビリテーション研修「義肢装具士、理学療法士支援研修」	義足歩行のバイオメカニクス、義足の基礎から最新情報まで	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	症例検討発表		2	0	0	0	1	0	2	5	10	12	8	9	49	
	現職者講習会(2007)		0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	7		
	他県士会研修会等(2007)		0	0	0	0	0	0	0	2	1	8	4	19		
	平成19年度臨床実習に関する研修会(県士会主催外)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	衛星放送		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
														0		
	計		80	4	9	12	37	36	61	61	102	400	877	1424	3103	

資料② 新人教育プログラム対象者および履修状況・修了書発行状況(平成20年3月末現在)

神奈川県 士会員数	対象者数(S61以降入会)		入会年度	人数	修了書発 行者	H19年度 登録者
	経験年数3年 未満	経験年数3年 以上				
	2208		S61~S63	97	62	0
			H1~H5	172	103	0
			H6	41	13	1
			H7	53	18	0
			H8	45	16	0
			H9	72	20	2
			H10	69	25	2
			H11	107	38	5
			H12	112	29	3
			H13	127	37	0
			H14	188	36	9
			H15	174	16	6
			H16	201	11	7
			H17	194	8	8
2364	556	1652	計	1652	432	43

学術誌編集部

部長 山崎哲司 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
 部員 大澤美代子 (横浜市立脳血管医療センター)
 坂口裕次郎 (戸塚病院)
 吉川美奈子 (横浜市立脳血管医療センター)
 柳田憲光 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
 清水美紀 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

・会報、学会抄録集との合併号の企画・発行

『神奈川県理学療法士会・会報「技術と研究」第36号』

・第25回神奈川県理学療法士学会準備委員長と学会抄録集について連絡・調整

・企画・編集会議の開催

企画編集会議

第1回会議：年間予定の計画・確認、企画案の検討

第2回会議：企画案・テーマの決定、執筆者の検討

第3回会議：執筆者の決定、執筆依頼文の作成・発送

第4回会議：原稿の校正作業、発送までの作業工程確認

第5回会議：原稿のチェックと修正、レイアウトの確認

第6回会議：第一稿のチェックと修正依頼の発送作業

第7回会議：第一稿のチェックと校正、レイアウトの確認

印刷所とレイアウトの打ち合わせ、見積りの依頼

第8回会議：第二稿のチェックと校正、レイアウトの確認。発送作業の確認

第9回会議：礼状、謝礼、製本、別刷りの作成と発送、反省会

臨床実習教育部

部長 坂本美喜（北里大学医療衛生学部）

部員 隆島研吾（神奈川県立保健福祉大学）

澤田明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

米沢昌宏（鶴巻温泉病院）

阿部成浩（横浜市立脳血管医療センター）

1. 臨床実習に関する講習会の開催

神奈川県委託事業として、臨床実習指導者研修会を開催した。

日程：平成20年2月17日（日） 13時～15時

場所：北里大学医療衛生学部

内容：テーマ「臨床実習の進め方 ―具体的な流れ―」

講師：上内 哲男 先生（東京厚生年金病院）

参加人数：87名

局に属さない部・委員会

規約審議委員会

委員長 植松豊子（川崎市立井田病院）

委員 松瀬友子（川崎市立井田病院）

1. 公印管理規程の作成
2. その他、規約に関すること

表彰審査委員会

委員長 磯部貴光（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

1. 平成19年度神奈川県公衆衛生協会会長表彰推薦
公立大学法人横浜市立大学付属病院 畠中泰司氏を当士会理事会へ推薦した。
理事会決定後関係書類作成し神奈川県に提出した。
畠中泰司の平成19年度神奈川県公衆衛生協会会長表彰受賞が決定された。
2. 日本理学療法士協会賞受賞者候補者推薦
神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科教授長沢弘氏を当士会理事会へ推薦した。
理事会決定後関係書類作成し日本理学療法士協会に提出した。
長沢弘氏の日本理学療法士協会賞受賞が決定された。

IT化推進委員会

委員長 澤田明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

委員 佐藤満（昭和大学保健医療学部）

延藤実穂（横浜市立脳血管医療センター）

山村孝司（横須賀共済病院）

田中健康（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

1. インフラ関連の整備
 - 1)セキュリティ保持
SSL 認証サービスの継続契約によりサーバのセキュリティを維持した。
 - 2)インタラクティブティ向上
CGI を利用したシステム(以下、*はこのシステムを利用したもの)の運営とスクリプトのメンテナンスを行った。
2. ウェブページ(<http://www.pt-kanagawa.or.jp>)管理・運営
学術情報を中心にコンテンツを提供した。認証投稿式掲示板(WebNEWS)(*)の管理を行った。

3. メールマガジン発行(*)

ウェブページ新着情報告知のためのメールマガジン(号外を含め、計 53 号)を発行した。

4. メール問い合わせへの対応

メールフォーム(*)を管理し、ウェブページ経由でのメール問い合わせに対応した。平成 19 年度のメール問い合わせ件数(2007/04/01~2008/03/31)は 203 件(内訳は下表)。

問い合わせ先\問い合わせ元	会員	他会員	非会員	計
ウェブ管理者	21	6	2	29
士会事務局	73	10	14	97
新人教育プログラム(データ管理係)	22	4	0	26
新人教育プログラム(研修会)	18	3	1	22
第25回神奈川県理学療法士学会	6	3	1	10
診療報酬に関するご質問	4	0	1	5
第1回講習会	2	1	0	3
理学療法月間	2	0	8	10
高齢者福祉部	1	0	0	1
計	149	27	27	203

会員:神奈川県士会会員 他会員:他都道府県士会会員

5. 学術情報登録システム(オンライン登録システム)の運用(*)

以下の講習会ならびに研修会において「研修会・講習会等参加登録システム」運用によるサポートを行った。

第1回~第4回講習会・学術研修会・臨床実習教育部主催研修会

6. 学会サポート

以下により、第25回神奈川県理学療法士学会の運営に協力した。

1)学会事務局用メールアドレス設定

2)学会演題登録システム運用(*)

3)学会専用ページコンテンツに関する助言(作成は学会準備委員会による)

女性ライフサポート委員会

委員長	萩原 文子	(川崎社会保険病院)
委員	半田 幸子	(帝京大学医学部附属溝口病院)
委員	寺尾 詩子	(聖マリアンナ医科大学病院)
委員	大島 奈緒美	(介護老人保健施設 湘南シルバーガーデン)
委員	井上 早苗	(川崎市れいんぼう川崎)
委員	堀 七湖	(帝京大学医学部附属溝口病院)
委員	大塚 敬三	(平塚市民病院)

1、研修会開催

日時 平成20年3月8日(土) 11:40～12:40
会場 横浜シンポジア(神奈川県学会会場)
テーマ パワーアップは離職防止から
講師 (社)川崎市看護協会 常務理事 堤 郁子 先生

2、講習会(新人教育プログラムI-1)

日時 平成19年6月17日(日)
会場 神奈川県立保健福祉大学
テーマ 女性の雇用環境について
講師 中村 さち子 理事

3、第26回関東甲信越ブロック理学療法士学会にて発表

日時 平成19年9月2日(日)
会場 軽井沢プリンスホテルウエスト
テーマ 神奈川県士会女性ライフサポート委員会の活動報告
演者 萩原 文子 委員長

4、県士会ニュースでの活動報告

テーマ 職場環境を考える 第3報～第8報

スポーツサポートケア委員会

委員長 渡邊 裕之 (北里大学医療衛生学部)
委員 久保 雅昭 (横浜総合病院)
鈴木 仁人 (横浜市スポーツ医科学センター)

1. 県体育協会と本会との関係について委員会内で協議を行った
2. 第89回全国高等学校野球選手権神奈川大会メディカルサポートの実施準々決勝以上7試合に対し、理学療法士のべ39名を派遣
(予備日を含めると59名が派遣あるいは待機した)
3. 大会抽選会場において、選手に対し「大会メディカルサポート」を講演した

組織検討委員会

委員長 萩原利昌 (川崎市百合丘障害者センター)
委員 秋田 裕 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
隆島研吾 (神奈川県立保健福祉大学)
齋藤幸広 (藤沢市民病院)

- 1 関係者からの意見聴取
- 2 中間報告の作成及び理事会報告

選挙管理委員会

委員長 山田 彰 (伊勢原協同病院)
委員 大橋恭彦 (伊勢原協同病院)
上田美枝 (東海大学医学部附属病院)

平成 20 年 3 月 社団法人神奈川県理学療法士会 役員選挙

第 25 回神奈川県理学療法士学会

学 会 長	齊 藤 和 男	新戸塚病院
準 備 委 員 長	久 保 雅 昭	横浜総合病院
総 務 責 任 者	宮 本 謙 司	青葉さわい病院
会 場 責 任 者	大 平 功 治	横浜新都市脳神経外科病院
演題受付責任者	大 森 圭 貢	聖マリアンナ横浜市西部病院
プログラム責任者	田 中 重 孝	汐田総合病院
会計責任者	戸 羽 香 央 里	横浜旭中央総合病院
相 談 役	山 村 俊 一	横浜新都市脳神経外科病院
	湯 田 健 二	海老名総合病院
会場運営委員	佐 藤 美 智	新戸塚病院
	水 無 瀬 友 美	新戸塚病院
	鈴 木 謙 介	横浜総合病院
	重 村 太 郎	横浜総合病院
	山 崎 達 司	横浜総合病院
	山 下 茂 雄	横浜総合病院
	岡 田 覚	青葉さわい病院
	齋 藤 千 津 子	青葉さわい病院
	中 川 美 緒	青葉さわい病院
	新 田 智 裕	青葉さわい病院
	角 田 信 夫	横浜新都市脳神経外科病院
	北 田 一 智	横浜新都市脳神経外科病院
	山 本 浩 二	横浜新都市脳神経外科病院
	平 賀 篤	横浜新都市脳神経外科病院
	奥 山 亜 耶 子	横浜旭中央総合病院
	大 野 智 美	横浜旭中央総合病院
	矢 田 優	横浜旭中央総合病院
	村 磯 和 久	横浜旭中央総合病院
	藤 原 聡 嗣	横浜旭中央総合病院
	田 中 さ え 子	けいゆう病院
	彦 根 奈 津 美	けいゆう病院

中 村 崇	高田中央病院
長 谷 川 謙 治	国際親善病院
川 上 恵 治	湘南泉病院
上 村 智 恵	湘南泉病院
鳥 沢 清 人	赤枝病院
吉 田 有 紀	たちばな台病院
山 口 耕 平	たちばな台病院
譲 原 祥	汐田総合病院
村 上 弘 行	汐田総合病院

第 25 回神奈川県理学療法士学会は、下記の通りに開催されました。学会の企画・運営に携わっていただきました会員諸氏に感謝申し上げます。

1. 開催日時：平成 20 年 3 月 8 日（土） 開会 9 時 30 分 閉会 18 時 20 分
2. 開催場所：横浜シンポジア（産業貿易センタービル 9 階）
3. 学会テーマ：「学不可以已ーやってみよう症例報告ー」
4. 参加人数：会員及び学生 408 名 一般参加者 4 名
5. 後 援：神奈川県・横浜市健康福祉局
6. 学会案内：神奈川県理学療法士会ニュース、ポスター、ホームページ
7. 公開講座：「生命のシステムから考える運動の効果
ーなぜ運動は身心に良いのか？ー」
東京大学名誉教授 跡見順子先生
8. 特別講座：「足底板療法における動作分析
ー臨床から理論科学へー」
足と歩きの研究所所長 入谷 誠先生
9. シンポジウム：「各職場における症例検討会のノウハウについて」
座長 北里大学 木村雅彦先生
シンポジスト 神奈川県立保健福祉大学 石井慎一郎先生
横浜新都市脳神経外科病院 山村俊一先生
介護老人保健施設つくしの里 木下尚久先生
訪問看護リハビリテーションネットワーク 大森豊先生
10. 一般演題：口述発表 8 演題 ポスター発表 33 演題
11. その他：神奈川県内学術サークル ポスター紹介